

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(2) いかにルールを順守する環境づくりを行うか
国際社会ではSDGsに対する理解が進み、人種や文化等の違いに寄らない多様な観光活動が行われている⑥。一方で、観光に関するルールが十分に理解されず、外国人旅行者の迷惑行動に発展する事例が増加しつつある。そのため、外国人旅行者のマナーを向上させる取組が重要である。よって、多様性の観点から、誰もがルールを順守する環境づくりが課題⑦である。

⑥ 「寄らない」は「依らない」だと思いますが、平仮名で良いと思います。また、文化の違いによらない多様な観光活動との表現が分かりづらいです。「よらない」ではなく「対応した」、「観光活動」ではなく「観光造成」としてはいかがでしょうか。

⑦ 「技術士第二次試験受験申込み案内」には、『「選択科目」に関わる観点から課題の抽出を行い』とあります。今さらですが、専門性に欠ける課題提起だと思います（必須科目なら全く問題ないのですが、選択科目ⅢなのでNG）。例えば、都市構造の観点、都市環境の観点、土地利用の観点、地方創生の観点などなど、専門分野に特化した観点からの課題設定が望まれます。

(3) いかに省人化して取り組むか
観光業は、サービスを人的労働によって生み出す労働集約型産業であるにもかかわらず、人手不足が顕著である。生産年齢人口が減少を迎える中、さらなる人手不足が懸念されることに加え、オーバーツーリズム対策にも多くの労働力が必要である。よって、人材面の観点から省人化の推進が課題⑧である。

⑧ 今さら感たっぷりですが、この課題も⑦と同じです。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

2 . 最も重要な課題と解決策

地域の安全、健康及び福利に直結するため「いかに観光需要をマネジメントするか」を最重要課題に選定し、以下に解決策を述べる。

(1) 移動のマネジメント

① ウォーカブルシティの推進

街路空間を再構築し、歩行や公共交通機関を活用して移動できる環境を整備する⑨。具体的には、滞在快適性等向上区⑩を設定し、自治体の公共施設整備⑪と併せて民地のオープンスペースやピロティを創出する⑫。移動には⑬、LRTを導入し電停のバリアフリー化を行うことで、歩行空間と一体的な空間⑭を整備する。このように、WEDOなまち中⑮を創出することで、過度なマイカー利用を削減させるとともに、生活に伴う交通需要の緩和にも貢献できる⑯。

⑨ 街路空間の再構築と、歩行や公共交通機関の活用（←これは何なのか不明）と手段が二つ示されていますが、どちらが言いたいことなのでしょう（両方の場合は構文がおかしいです）。また、歩行や交通機関を活用して移動できる環境はすでにあります。言いたいことは、歩行空間を快適にして、移動手段として徒歩や公共交通を選択してもらえるようにすることではありませんか。

⑩ →「滞在快適性等向上区域」

⑪ 抽象的です。最初に街路空間の再構築とあるので、どのように再構築するのかを書くべきです。例えば、街路を拡幅して広場化する事業といった内容が想定されます。

⑫ これも、もう少し具体的に記述した方が分かりやすくなると思います。例えば、「沿道店舗のオープンスペース提供、建築物のオープン化（ガラス張り化、ピロティ化等）による賑わい創出」など

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

- ⑬ 「移動には」としてしまうと「徒歩は？」となってしまいます。ここは、「中距離輸送手段として」とか「公共交通機関の一つとして」といった表現が適切なのではありませんか。
- ⑭ 一体的とありますが、歩行空間と何が一体化されるのですか。電停のことを言っているのでしょうか、それとも軌道も含めてLRT 関連施設全体を言っているのでしょうか。また、なぜ一体化するのですか（電停の場合待ちスペースが必要で、これが歩行空間になるのでしょうか）。
- ⑮ これはさすがに唐突です。せいぜい、居心地が良く歩きたくなる空間くらいにしておかないと説明不足に感じます（WEDOを共通認識とすることに違和感があります）。
- ⑯ 波及効果のように見えますが、これは本来の目的ではありませんか。

② T D M の 推 進

ピーク時間帯での観光客の集中を回避するため、MaaSを導入し、観光施設の利用券と公共交通の乗車券がセットになったパスを発行する⑰。予約時には、公共交通事業者と施設管理者の協力のもと、各観光施設の混雑状況をリアルタイムで表示することで⑱、観光客の時間的・空間的な⑲分散化を図る。

- ⑰ なぜ MaaS の導入やセット販売が集中を回避することにつながるのですか。目的と手段がミスマッチに見えます。
- ⑱ MaaS やセット販売はどこへ行ってしまったのですか。結局、混雑状況を表示することのみで良いという結論に見えます。
- ⑲ いきなり空間的分散がでていますが、空間的な分散手法が示されていません。

(2) 立 地 の マ ネ ジ メ ン ト

地域毎のまちづくり制度を活用し、宿泊客の集中を防ぐ⑳。例えば、都市計画法に基づく地区計画により

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 部 屋 あ た り の 最 低 面 積 を 設 定 し 、 狭 小 な 宿 泊 施 設 の
立 地 を 制 限 す る ㉑ 。 ま た 、 建 築 基 準 法 に 基 づ く 建 築 協
定 区 域 を 設 定 に よ り 建 築 物 の 用 途 制 限 を 行 い 、 無 秩 序
な 宿 泊 施 設 の 開 発 を 抑 制 す る 。

㉑ 地域毎のまちづくり制度との表現では、抽象的で何をするのか分かりません（例示ですと建物の立地や居室の制限なので建築物の制限に係る制度を活用ですかね）。また、宿泊客の集中を防ぐというより、宿泊施設の供給量をコントロールするのではありませんか。

㉒ 狭小な宿泊施設がダメな理由が分かりません。

(3) 地 域 主 体 に よ る マ ネ ジ メ ン ト

D M O を 中 心 と し て ㉒ 観 光 地 域 づ く り を 行 う こ と で 、
分 散 型 の 観 光 地 を 創 出 す る ㉓ 。 例 え ば 、 空 き 家 が 増 加
す る 限 界 集 落 に お い て 、 古 民 家 を 活 用 し た 宿 泊 施 設 の
運 営 を 行 う 。 集 落 生 活 の ブ ラ ン デ ィ ン グ と 伴 に 耕 作 放
棄 地 の 解 消 や 里 山 の 再 生 を 行 う こ と で 、 観 光 活 動 と 共
存 し た 集 落 再 生 を 実 現 さ せ る 。 こ の よ う な コ ン テ ン ツ
開 発 に よ っ て 、 旅 行 先 の 分 散 化 が 期 待 で き る 他 、 新 た
な 観 光 ス タ イ ル の 価 値 観 を 創 出 す る こ と が で き る ㉔ 。

㉒ → 「DMO が中心となって」

㉓ 「DMO=分散化が図られる」では説得力に欠けます。DMO が中心となる→全体の統制が図られる→分散化可能というロジックを丁寧に説明しましょう。解決策は、目的→やること→具体例が良いですよ。ここでの「やること」は、DMO の設置ですかね。

㉔ DMO じゃなきゃできないことですか。DMO 設置との関連性が不明です。DMO が存在することによる効用を具体的に示さないと支離滅裂に見えます。

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

3 . 新 た な リ ス ク と 対 応 策

観 光 需 要 の 適 正 化 に よ り 地 域 の 魅 力 や 価 値 が 高 ま る
こ と で 、 郊 外 地 等 で は ㉕ 開 発 圧 力 が 高 ま る 。 そ の こ と
に よ る ス プ ロ ー ル 化 現 象 の 発 生 等 、 自 然 生 態 系 へ の 悪
影 響 が 懸 念 さ れ る ㉖ 。 ㉗ 対 応 策 と し て 、 特 別 緑 地 保
全 地 区 制 度 を 活 用 す る 。 一 定 の 建 築 行 為 や 宅 地 の 造 成
等 の 土 地 の 形 質 変 更 を 制 限 す る こ と で 、 現 状 凍 結 的 に
地 区 を 保 全 す る 。 ま た 、 地 区 の 指 定 に よ っ て 優 遇 税 制
措 置 が 適 用 さ れ る 他 、 管 理 協 定 制 度 を 併 用 す る こ と に
よ っ て 土 地 所 有 者 の 負 担 を 軽 減 す る こ と が で き る 。 こ
の こ と に よ っ て 、 豊 か な 緑 を 将 来 に 継 承 す る こ と が で
き 、 健 全 な 生 活 環 境 や 景 観 を 維 持 す る こ と が 可 能 と な
る 。 以 上

㉕ → 「の」

㉖ 郊外地での開発圧力が高まると言っているので、スプロール化現象は少しくどのような印象を受けます。スプロール化が言いたいのであれば、開発圧力に変えて述べると良いでしょう。それよりも、特緑の話をしているので、ストレートに樹林地の開発が懸念でよいのではないのでしょうか。

㉗ 要改行。